

## 「チャレンジ支援委員会」

# 2019 年度秋季大会報告

## 「わかばさんいらっしやい」 第1日目 12:10-12:55

担当： 中山英治・大嶋智規・劉志偉

本大会第1日目 12時10分から「わかばさんいらっしやい」が始まりました。今回は関東方面からも松江周辺からも多方面からご参加くださいました。いつも通り開始までの時間を使って、「自己紹介カード」を用いてわかばさん同士交流を深めてもらってから、本題に入りました。大会では何が行われるのか、大会を楽しむためにはどんなことに気をつけたらいいのかなど大会の楽しみ方のコツを一通り説明すると、次第にわかばさんたちの表情も柔らかくなり、笑顔で聞き続けてくれました。



最終的に来訪者は13名で、アットホームな「わかばさんいらっしやい」になりました。チャレンジ支援委員が個別にお聞きしたところによると、「よい機会をもらうことができました。」とお声もあり、おおむね好評だったことが見受けられます。参加者は大学生・大学院生さんであれば、中には現場で実践をされている大学勤務の方もおられました。いろいろな方たちに、大会での時間を充実したものになるためのステップをご提供できたのではと思います。

## 「わかば・コンシェルジュ」 第1日目 12:00-17:00／第2日目 8:45-15:00

担当： 松本明香・吹原豊

「わかば・コンシェルジュ」は、大会1日目は12時から17時まで、2日目は8時45分から15時まで催しました。1日目は一般公開プログラムを終えてから受付横に設置されたコンシェルジュ・ブースに、お目当てのイベント会場やクロークの場所などを確認しにいらっしやる方が多かったです。そのほかにまた、「わかばさんいらっしやい」の開催場所の確認に訪れるわかばさんや、「わかばさんのための大会チェックリスト」をコンプリートした成果物（記念品の缶バッジ）を受け取りに訪れるわかばさんもいらっしやいました。そして、今大会でも用意した記念写真撮影用の顔出しパネルが活躍しました。実際にわかばさんだけでなく、大会に参加された多くの皆さんに良い記念写真を撮っていただけたと思います。大会2日目は「ぶらさ da わかば」の予約の抽選会から始まりました。センパイの予約が全て埋まった後も、数人の希望者がいらっしやる姿も見られました。

今大会でも委員一丸となって、わかばさんをはじめ、多くの参加者の方々にとって実り多き大会になることを目指して活動しました。今後もさらなるチャレンジの可能性を探っていききたいと思います。

## 「ぶらさ da わかば」 第2日目 1210-13:20

担当： 大平幸， 櫻井千穂， 三代純平， 家根橋伸子

「わかば」の頃、日本語教育の世界で自分の先を歩いているセンパイと交流する機会を持てれば、ちょっとしたヒントをもらったり、悩みや疑問を相談したりすることができるかもしれません。しかしながら、自分からセンパイに話しかけたり、さらには、一対一で対話をする機会を持ったりすることはなかなかむずかしいことではないでしょうか。そんな「わかば」な人のために立ち上げられた「ぶらさ da わかば」も今回 8 回目の実施となり、多様な背景をもつわかばさん 12 名に来ていただくことができました。中には、他分野から日本語



教育に関わるようになった現職の方もいらっしゃいました。1 日目の「わかばさんいらっしゃい」で本企画を知り、参加した方も多く、わかばさんにとって参加しやすい流れが定着できているように思われます。対話時にはどのペアも初対面とは思えない熱心さで、会場全体が熱気に包まれました。そして、インスタ映えするオリジナルパネルを使って笑顔の記念写真（センパイとわかばさんのペア）で幕を閉じました。対話後のアンケート結果も熱気を伝える肯定的コメントがわかばさん、センパイ双方から寄せられました。

次回からはセンパイ公募制による開催となり、すでに学会 HP で公募を開始しています。今回参加いただいたセンパイの方々にも公募制についてお知らせしました。今後もこの企画を発展的に継続していきたいと思っています。



## 総括

担当： 三代純平

チャレンジ支援委員会が担当する 3 つの企画事業は、松江の大会で丸 4 年目に入りました。先にご報告した各チームの事業も学会員のみなさんに広く知っていただけるようになり、多くの方に参加していただきました。また、多くのセンパイ会員のみなさま方にも、わかばさんの支援をしていただきました。誠にありがとうございました。4 年目を迎え大会でのいずれの事業も安定的にわかばさんを支援できるようになったと感じています。今後は、より充実したわかばさんへの支援を行えるようさらなる質的な向上を目指してまいります。今後ともチャレンジ支援事業へのご協力、ご助言、よろしくお願いたします。